

歩く

篠栗四国 八十八ヶ所めぐり



世界一の涅槃像が鎮座する 第一番札所「南蔵院」。

篠栗四国霊場の総本寺で第一番札所の「南蔵院」①ブロンズ像で世界最大の「釈迦涅槃像」②右目が上、左目が下を向く天地眼の「不動明王」③七福神が鎮座する「七福神トンネル」④篠栗四国霊場発願の地である「不動ノ滝」など見どころも満載です。

所在地: 糟屋郡篠栗町大字篠栗1035
全景図: D-3



八十八ヶ所それぞれの 見逃せない魅力がいっぱい!

八十八ヶ所ごとに由縁や物語があります。⑤赤銅色の巨大な厄除け不動明王像が目印の第四十三番「明石寺」④弘法大師を海難から救った浪切不動明王がご本尊の第三十六番札所「天王院」⑦滝を見守る不動明王像が印象的な第八番「金剛の滝観音堂」⑨今にも天狗が現れそうな岩山がある第六十三番札所「天狗岩吉祥寺」は必見。また、⑩篠栗四国霊場の納経帳と結願書もご用意しています。



「遍路」の手引き

現代の遍路は服装に決まりはありませんが、白衣・金剛杖・菅笠の3点を身につけることで、心の姿勢ができていきます。ぜひ揃えてみてください。

遍路用品のお求めは 篠栗町観光協会までお問い合わせください。



Webサイトでも ご案内しております。

白装束のお遍路さんの背中に、「同行二人」という文字を見ることがありますが、これは「弘法大師とともに旅をしている」ことを意味します。ここ篠栗四国も四国と同じく、八十八ヶ所すべてをめぐる願いが叶うといわれ、年間約百万人が全国各地から参拝に訪れます。最近では自分探しの旅として訪れる人も多いそうです。

弘法大師ゆかりの寺院をめぐり、旅をする参拝者を「お遍路さん」と呼びます。

心の安らぎを求めて訪れる 「お遍路さん」。



「篠栗四国」は、香川県の小豆島四国、愛知県の知多四国とならび、日本三大新四国霊場として有名な霊場です。その始まりは1200年前。唐から帰朝した弘法大師(空海)が若杉山で修行したことから霊験あらたかな地として知られるようになりました。その後、一八三五年にこの地に立ち寄った尼僧慈忍が八十八ヶ所の霊場の創設を發案。慈忍の死後はその意志を受け継いだ藤木勝助翁が苦心を重ね、一八五四年、ようやく八十八ヶ所の札所が整えられました。

日本三大新四国のひとつ、「篠栗四国霊場」の始まりとは?